

ID No.312	
研究課題名	ウイルス感染に伴い形成される遺伝子制御ネットワークの解明とそれに基づく新規診断マーカーと治療標的の同定
研究代表者	稲田 健一 (藤田保健衛生大学・准教授)
研究組織	
受入教員	伊庭 英夫 (東京大学医科学研究所)
研究分担者	塩竈 和也 (藤田保健衛生大学)
	原口 健 (東京大学医科学研究所)
研究報告	
<p>EV virusの感染が発症と深く関わっているヒト悪性リンパ腫や胃癌症例を対象に、EV virus内在性のmicro-RNA (miR)の発現をホルマリン固定パラフィン包埋病理組織切片上で、高感度<i>in situ</i> hybridization (ISH)法により検出する方法を開発した。miR-199aの発現に関しても、下記の櫻井の報告との関連性において良好に検出できる系を確立した。</p>	